

# 判例を調べる

《法-3》

裁判での判断の際に参考となる、過去の裁判所判断を「判例」といいます。判断の際の先例として、判例は重要な意味を持ち、解釈や研究の対象にもなっています。この判例を調べる際に役立つ資料やツールをご紹介します。

## 目次

1. 調べるためのキーワード
2. 図書を探す
3. 雑誌記事を探す
4. オンラインデータベースで探す
5. インターネットで探す
6. 関係機関

## 1. 調べるためのキーワード

図書館の所蔵検索や各種データベースを検索する際に利用するキーワードの例です。  
《キーワード》判例 判例集 + お探しの法令名(民法、刑法、商法 など)

## 2. 図書を探す

### ○書架を探す

判例に関する図書資料は、2階公開室(公2)「暮らしに役立つ法律情報コーナー」〈法律〉及び2階公開室の法律分野の書架にあります。

なお、図書館の本は「日本十進分類法(NDC)」で分類された数字の順に並んでいます。

《関連分野の分類記号》※背ラベルの1段目の数字です。

|       |     |                      |       |        |
|-------|-----|----------------------|-------|--------|
| 320   | 法律  | 《主題別に分類される<br>法令・判例》 | 021   | 著作、著作権 |
| 323   | 憲法  |                      | 345   | 租税     |
| 323.9 | 行政法 |                      | 366   | 労働     |
| 324   | 民法  |                      | 498   | 医療・衛生  |
| 324.5 | 債権  |                      | 681.3 | 交通事故   |
| 324.6 | 家族法 |                      |       |        |
| 325   | 商法  |                      |       |        |
| 326   | 刑法  |                      |       |        |

※代表的な法律以外の諸法については、関連する主題の分類番号の書架にあります。お探しの資料が見つからない場合は、職員にご相談ください。

### ○判例の探し方に関する資料

#### ・『リーガル・リサーチ 第5版』

(いしかわまりこほか／著、指宿信ほか／監修 日本評論社 2016)【320.7/14/016】〈法律〉

法学分野の文献や資料の調査、収集において、重要な法令集、判例集、論文集等の基本知識、事典や目録といった調査ツールを紹介している。

判例についてはp.145-239にあり。

#### ・『法情報の調べ方入門 補訂版』(ロー・ライブラリアン研究会／編 日本図書館協会 2017)【010.8/21/28.017】〈公4〉

法情報についての知識とリサーチのテクニック、多様な資料の使い方をわかりやすく解説。

判例についてはp.123-153にあり。

○特定の判例を探す(論文等の引用元の判例を探す)  
判例が図書・論文等に引用される際、ほとんどの場合、判例の情報は以下のように表されます。

### 【表記の一例】

最大 決 平25.9.4 平24(ク)985号 民集67.6.1320  
① ② ③ ④ ⑤

①裁判所名:判決等を出した裁判所名が略語で表される。

「最大」=最高裁判所大法廷。

②裁判種類:「判決」「決定」「命令」の3種類があり、最初の1文字で表される。上記は「決定」。

③裁判年月日:決定が言い渡された日。平成25年9月4日。

④事件番号:事件の固有番号。平成24年に①の裁判所が985番目に受付けた民事特別抗告事件。

⑤出典:この決定を掲載している資料の情報。  
最高裁判所民事判例集67巻6号1320頁から掲載。  
(参考:『法情報の調べ方入門 補訂版』p.124)

各項目の略語(「最大」、「民集」等)の意味は、法律用語辞典、リサーチナビなどに記載されています。

### ・リサーチナビ「日本-判例資料」(国立国会図書館)

〈<http://rnavi.ndl.go.jp/politics/entry/Japan-hanrei.php>〉

「判例集一覧」から判例集の略称を知ることができる。

### ○主題から判例を探す

逐条解説書(コンメンタール)など、条文を解説する資料にも、判例情報が掲載されていることがあります。お探しの判例に関わる法令・条文が分からない場合は、法律用語辞典の総合索引から調べることができます。

### ・『現代法律百科大辞典』全8巻

(伊藤正己／編、園部逸夫／編 ぎょうせい 2000)

【320.3/87/1-8】〈公2〉(館内)

平成11年9月1日現在の法令による五十音順の辞典。収録用語数は5,500項目。8巻は「索引・資料」であり、索引は約20,000語から引くことができる。

### ・『法律学小辞典 第5版』(金子宏／編、新堂幸司／編、平井宜雄／編 有斐閣 2016)【320.3/84/016】〈法律〉(館内)

平成27年10月2日現在の法令による五十音順の辞典。収録用語数は約8,600項目。巻末に「総合索引」「外国人名索引」「判例年月日索引」がある。

### 3. 雑誌記事を探す

各種法律専門雑誌を所蔵しています。最新号は2階公開資料室雑誌コーナーに、バックナンバーは書庫にあります。上記コーナーにない雑誌でも、所蔵しているものがありますので、検索機でお調べいただくか、カウンター職員にご相談ください。

#### 【所蔵雑誌の一例】

※以下の3誌は、最新5年分を「暮らしに役立つ法律情報コーナー」にて開架しています。

・『**最高裁判所判例集**』(最高裁判所判例調査会 月刊)  
【114】 受入開始巻号:30巻7号(1977年3月)～

最高裁判所委員会が重要な判例として選んだものが掲載されている。「民事判例集」と「刑事判例集」の二部に分かれている。1年ごとに索引が発行されている。

・『**判例時報**』(判例時報社 月3回発行)【238】

復刻版を含め、第1号(1953年6月1日号)から所蔵。年2回、別冊付録で『判例時報総索引』が発行されている。また、100号ごとに臨時増刊で『判例時報総索引』が発行され、各部門、条文、項目ごとに検索ができる。

・『**判例タイムズ**』(判例タイムズ社 月刊)【239】

電子復刻版(DVD)を含め、第1号(1947年2月1日号)から所蔵。(創刊当初は『法律タイムズ』(法律タイムズ社))法律の実務家(弁護士・裁判官・検察官など)向けに全国の判例情報や、論文が掲載される。昭和37年～平成17年の『判例タイムズ』収録判例の検索には、『判例年報』(判例タイムズ臨時増刊号)から調べることができる。

### 4. オンラインデータベースで調べる

栃木県立図書館で利用できるオンラインデータベースです。検索・閲覧をご希望の方は、カウンター職員にご相談ください。

・「**D1-Law.com**」(第一法規)

法情報総合データベース。「判例大系」では約29万件の判例を検索可能。検索は「フリーワード」「参照法条」「裁判年月日」「裁判所」「出典」等、条件の指定ができる。また、審級情報や類似判例の検索も容易である。

○新聞記事を探す

法令や政令の施行が新聞に掲載されることがあります。当館では朝日新聞、読売新聞、下野新聞・日経新聞のデータベースと契約しており、一定期間内の記事検索が可能。

### 5. インターネットで調べる

○判例の本文を探す

・「**裁判例情報**」(最高裁判所)

<<http://www.courts.go.jp/app/hanrei.jp/search1>>  
裁判所の裁判例情報を検索できるシステム。「裁判所名」「事件番号」「裁判年月日」「全文」等により検索が可能。判決翌日の判例が掲載されることもある。

・「**国立国会図書館デジタルコレクション**」

<<http://dl.ndl.go.jp/>>  
『大審院民事判決録』などの閲覧・複写が可能。インターネット非公開資料も含め、目次検索が可能。  
インターネット非公開でも、当館の専用端末から閲覧できる資料がある(例:『最高裁判所裁判集』の当館未所蔵分)。※利用については、カウンター職員にご相談ください。

○判例掲載資料を探す

・「**最高裁判所図書館 蔵書検索**」

<<http://www.opac8.com/user/courts/court.html>>  
平成17年1月以降に出版された和図書及び和雑誌の目次から、法律記事等を網羅的に採録している。

・「**法務図書館 図書情報検索システム**」

<<http://opac.library.moj.go.jp/mylimedio/search/search-input.do?mode=comp>>  
法務図書館(法務省内)の蔵書が検索できる。図書は目次・要旨が、雑誌は法律雑誌の索引が検索できる。事件名や事件番号からの検索も可能。

・「**NDL ONLINE**」(国立国会図書館蔵書検索システム)

<<https://ndlonline.ndl.go.jp/>>  
分野別判例集を探す場合、詳細検索で「件名」に「[分野名]+判例+日本」と入力することで確認できる。判例解説(最高裁判所調査官が執筆する解説)を探す場合、『法律時報』の「最高裁判例紹介」および『ジュリスト』の「時の判例」は、雑誌記事で検索可能。

・「**リサーチナビ**」(国立国会図書館)

<<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>>  
国立国会図書館が運営する調べ方案内のサイト。検索窓から、入力した文字列を目次に含む資料を調べることができる。ただし、資料の原文通りにデータ化されているため、表現を変えて複数回検索する必要がある。(例: 21、二一、二十一)  
また、判例の調べ方については以下のページが有用。  
・「判例の調べ方」

<[https://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/hanrei.php](https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/hanrei.php)>

・「官報・法令・判例検索(日本)」

<<https://rnavi.ndl.go.jp/politics/entry/link-gazette-j.php>>

・「日本-判例資料」

<<http://rnavi.ndl.go.jp/politics/entry/Japan-hanrei.php>>

### 6. 関係機関

・法テラス栃木 日本司法支援センター栃木地方事務所

<<https://www.houterasu.or.jp/chihoujimusho/tochigi/>>  
宇都宮市本町4-15  
TEL:050-3383-5395

面談や電話で、消費者被害や事故、年金といった相談内容に応じた法制度や手続き、関係機関の相談窓口を案内している。



栃木県立図書館調査相談カウンターでは、さまざまなテーマや課題に関する資料・情報の調べ方、入手方法に関する相談に応じています。お気軽にご相談ください。

栃木県立図書館 調査相談課  
レファレンスサービス担当

火-金 9:00-19:00 土日祝 9:00-17:00  
〒320-0027 栃木県宇都宮市埜田1-3-23  
<http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/>  
TEL:028-622-5112 FAX:028-624-7855  
E-Mail:chousaka@lib.pref.tochigi.lg.jp